



仲間が広がる、旅が深まる



クラブツーリズム



鈴木 光希／Mickey Suzuki

クラブツーリズム株式会社 マーケティング本部 営業企画部

受賞歴：

GSTC certificated professional sustainable tourism

(サステナブルツーリズムにおける国際認証取得)

2022年/23年/24年 JATA SDGsアワード 優秀賞／奨励賞受賞

2024年 観光庁 サステナブルな旅アワード 特別賞受賞

入社から長くクラブツーリズムの「趣味クラブコミュニティ型」のツアー企画運営に従事して現場を経験。

2016年頃より異業種企業や自治体とのアライアンスビジネス開発のセクションに異動し、アクティブシニア世代を中心とした顧客のLTV向上プログラムやマーケティングを経験。

現在は旅行軸にとどまらない新規事業開発およびアライアンスビジネス開発を軸に業務に従事。主に首都圏キー局テレビ会社と取り組む通販型旅行番組や大手通信キャリアと協業によるサブスク型のオンラインサービスなどの立ち上げ、外部一般社団法人を兼務しツーリズムコンソーシアムのディレクションを経験。

会社紹介【事業概要】



日帰り旅行から世界一周クルーズ、そして趣味のコミュニティから宇宙旅行まで。
クラブツーリズムの旅は、旅先での出会いや学び、五感を揺さぶる感動をお届けします。

旅行事業

- ・国内旅行・海外旅行・バス旅行
- ・テーマ旅行・クルーズ旅行
- ・宇宙旅行・ゆったり旅(フレイル)
- ・訪日旅行・着地型旅行

旅行外事業

- ・地域共創事業
- ・新クラブ1000事業
- ・アライアンス事業(事業開発)
- ・生活サポート事業・その他周辺事業

会社紹介【マーケティング】

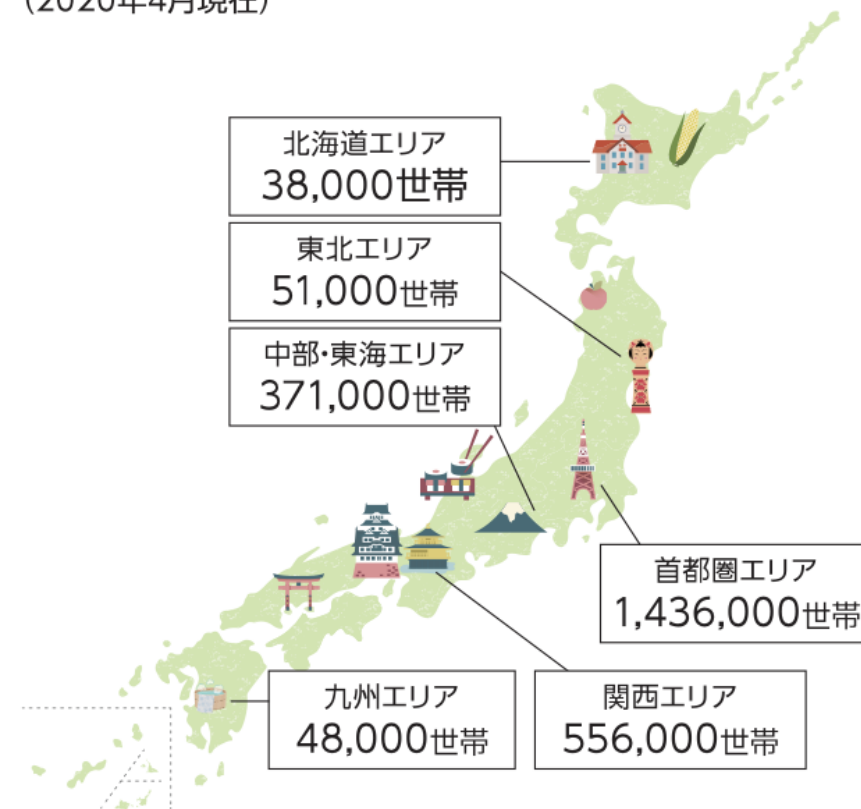
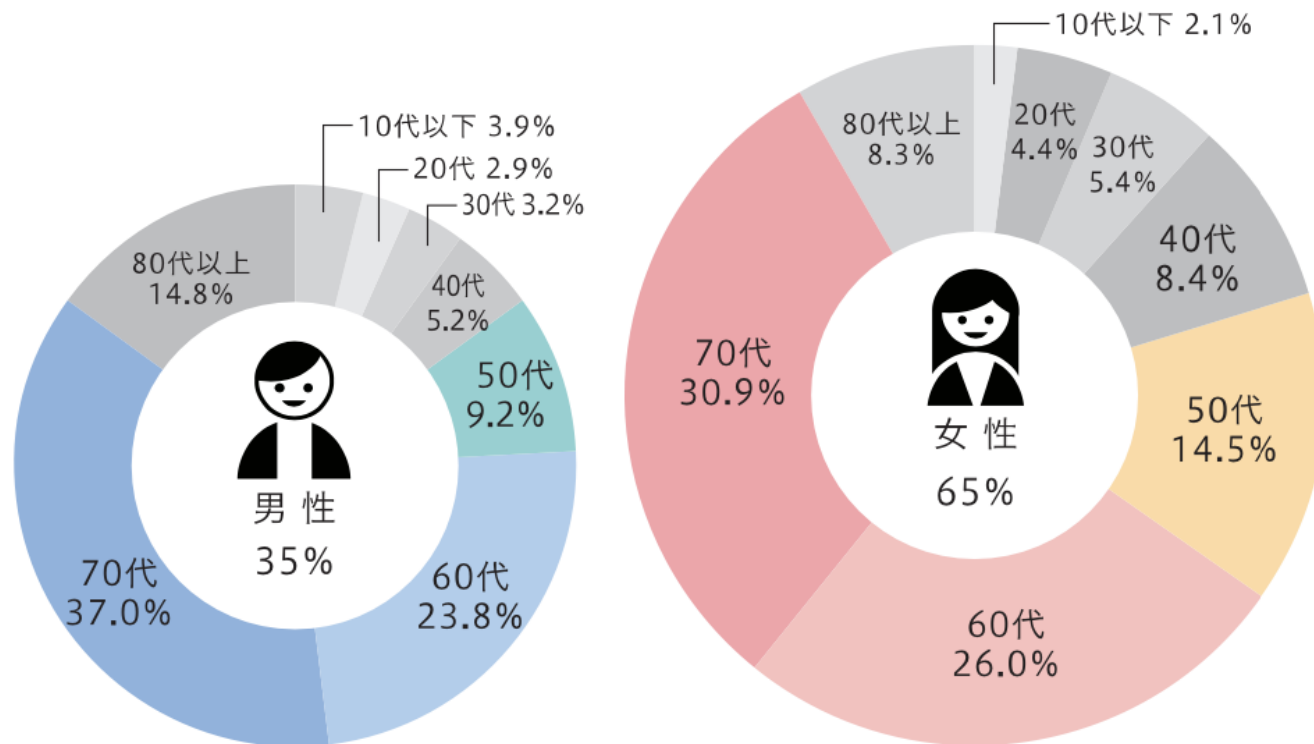
● クラブツーリズム会員データ

■ クラブツーリズム会員数 700万人

■ 「旅の友」発行部数 250万世帯／400万人

■ 「旅の友」配送世帯数

(2020年4月現在)



会社紹介【テーマのある旅～嗜好性ごとのコミュニティづくり～】



旅行を通じて得た膨大な顧客データに合わせて
顧客の趣味嗜好に合わせた100種類以上のセグメントテーマ性のある旅行を提案

趣味の旅を通じた仲間づくり(コミュニティづくり)を推進

地域観光はいま 『人』 + 『意味』 × 高付加価値体験 がトレンド

『人』とは

地域を深く理解していてその魅力を体験を持って伝えられる“人”がいま地域の観光の主人公になっている。

→どうやってこの“人”と繋がれるかがポイント

『意味』とは

訪問者が地域に関わり、体験することが一体どのような意味があり何を残すことができるのかなど地域と深くつながる“意味”のある体験がその地域の「ファンづくり」に繋がってくる。

→そのストーリーをしっかりと体感できる編集力がポイント。

これまでは、、、

環境保全活動 = 人的リソースが足りない

これからは、、、

環境保全活動 = 人的リソースが足りない



環境保全活動 = 関係人口づくり
(≡人と意味を組み合わせた地域体験)

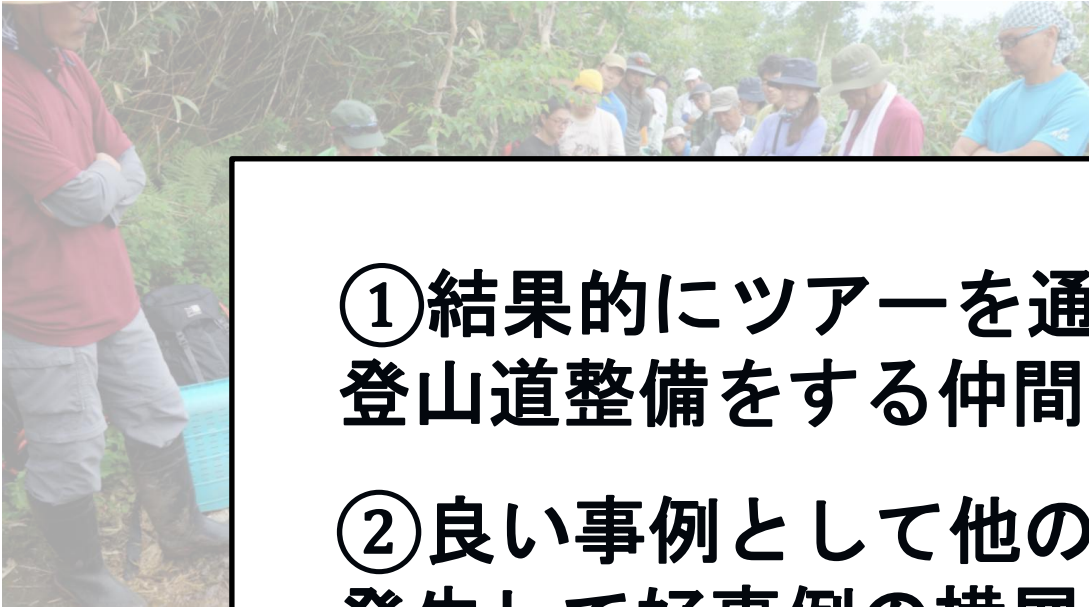
CASE.1

登山道整備が地域の観光に？

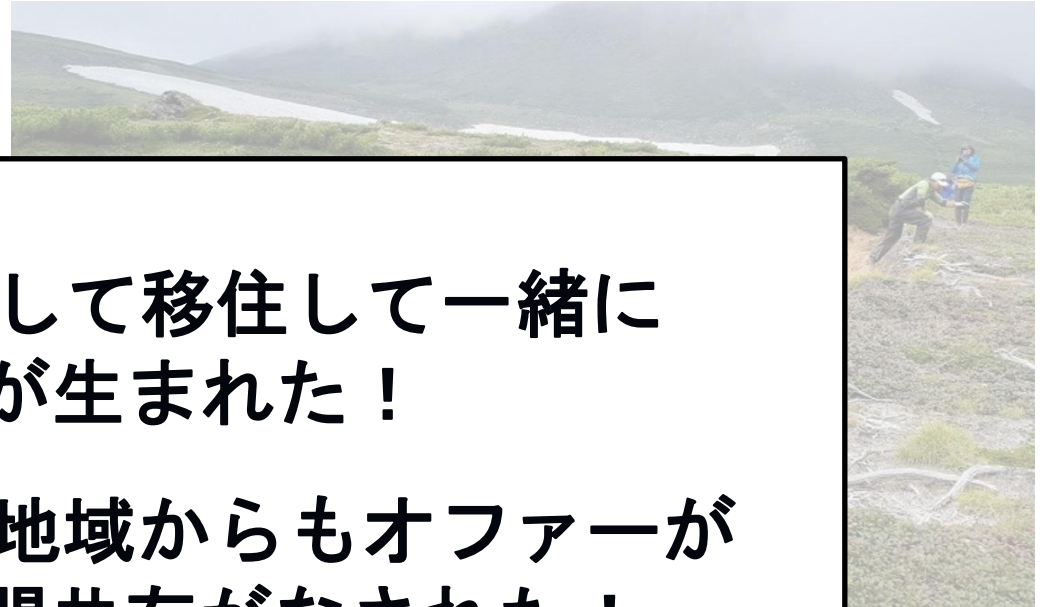


登山好きの方々向けに「個人ではできない」登山道整備について学び・実践する
プログラムを有料で販売（1名約15～20万円）

- ① 人手不足の整備のサポートが生まれる！
- ② プログラムを通じて参加者の環境保全の意識も高まる
- ③ 地元ガイドにしっかりとお金が支払われる＝仕事になる
- ④ 地域の自然資源を活用して地域のPRや誘客に繋げる



登山者



る

- ①結果的にツアーを通して移住して一緒に登山道整備をする仲間が生まれた！
- ②良い事例として他の地域からもオファーが発生して好事例の横展開共有がなされた！
- ③この地域に繰り返し訪問するファンが多く生まれた！

- ② プログラムを通して参加者の自然保護の意識も高まる
- ③ 地元ガイドにしっかりとお金が支払われる＝仕事になる
- ④ 地域の自然資源を活用して地域のPRや誘客に繋げる

CASE.2

ネイチャーポジティブな村の 自然再生コミュニティ

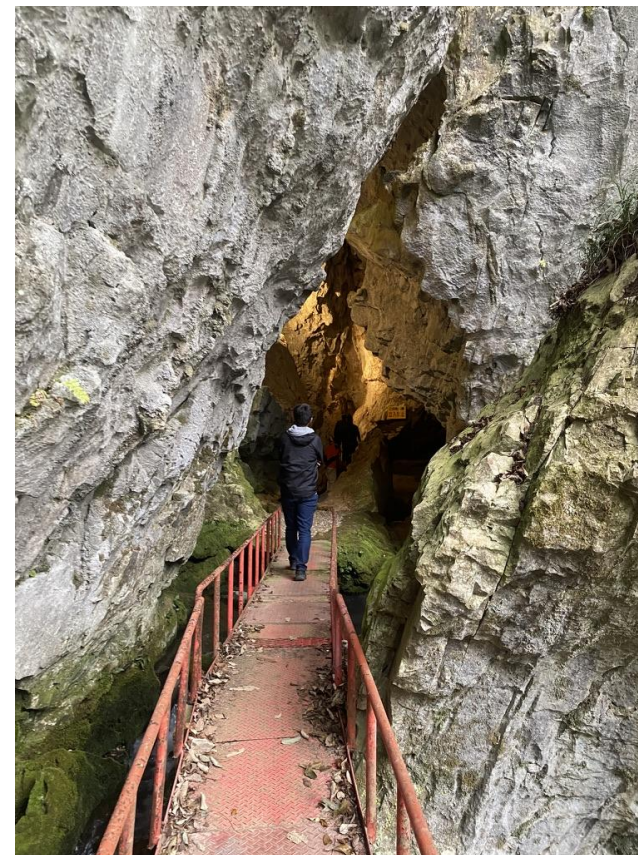


中山間地域の自然区画を借りて「ネイチャーポジティブ」「生物多様性」といった環境テーマを体験を通じて学び繋がる村の自然再生体験コミュニティを組成



- ① 移住者の発生や域外からの複数回往来が活性化
- ② プロジェクトがメディアでも多数取り上げられて認知度向上に
- ③ プロジェクト連携希望の企業とも多くのマッチングが発生
- ④ アカデミー連携で実証テーマにも

今年度からは里山・里海の保全と体験を 両輪回すコミュニティ発足へ！



良好な環境保全は、
新たな関係人口づくりにつながる
観光コンテンツのキーポイントに。